

社会資本整備総合交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 社会資本総合整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 社会資本総合整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 社会資本整備総合交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 社会資本総合整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()					

添付様式1－② 社会資本総合整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
公園									
公園									
公園									
公園									
土地地区画整理 事業(都市再生)	白子三丁目中央土地地区画整理事業	523	7.0ha	523	7.0ha	令和元年9月の事業計画変更(事業資金の変更)	資金計画を見直したが、街づくり目標、指標等への影響なし。		●

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		

添付様式2－① 社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
															あり	なし
指標1	消火困難区域を0%に減少	%	令和2年11月1日時点の消火栓 の位置を図上に記載し、そこから 120mの円を描いて円内となる 区域を図上計測。	11.40	H21	0.00	H24	0.00	R01	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み	○	0.00	事後評価	○	
指標2										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み		事後評価			

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	予定通り道路築造及び供給処理施設工事が進むとともに、住宅需要が増したことによって上水道施設が整ったため。	目標としていた消火栓は整備が完了したものの、道路築造が完了していない区域があるため、緊急車両の通行等の必要性から早期の整備を要する。
指標2		
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
	単位				基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・定量的な指標のみを設定しているため、定量的には表現できない定性的な効果はなかった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、社会資本総合整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3ー① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3ー② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3ー③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 構築に至らなかった)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
社会資本整備計画事業【白子三丁目中央地区】事後評価に係る庁内検討会議	・都市整備課 ・道路安全課 ・危機管理室	令和2年12月15日	建設部 都市整備課 区画整理担当

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		指標4	
指 標 名		消火困難区域の減少							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見				
基幹事業	土地区画整理事業(白子三丁目中央土地区画整理事業)	◎	・指標の数値目標は妥当で、成果は達成している。 ・土地区画整理事業の進捗に伴って、道路等の公共施設整備や上水道等の供給処理施設の整備が進んだことによって、指標の改善が図られた。						
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	本地区での防災対策は、他地区におけるまちづくりの防災対策に生かすことができる。			
-------	---	--	--	--

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指 標 名													
種別	事業名・箇所名	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類
基幹事業			Ⅱ										
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(社会資本整備総合交付金事後評価検討チーム)	・都市整備課 ・道路安全課 ・危機管理室	令和2年12月15日	建設部 都市整備課 区画整理担当

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 社会資本総合整備計画 に記載したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
狭あい道路の解消	狭あい道路の解消、災害時の避難経路の確保などの課題は、ある程度解消できた。	土地区画整理に伴う道路工事が完成していないため、できるだけ早く工事を完了し土地区画整理事業を修了させる必要がある。	・公共施設(道路・公園等)が整備されたことによって、新たに生じた交通危険箇所や防犯対策を要する箇所などの点検と対策。 ・住宅が建築されたことによる死角の増加、住民の増加による歩行者や自転車の事故の危険。 ・公園から道路への飛び出し対策。 ・畑の土や砂が宅地へ飛来することや道路へ流出する等への対策。 ・新住民と旧住民の交流を図る事についての課題。 ・現時点で消火栓が実際に使用されていないため、使用に際した不具合等についての検証。
公園等憩いの場の不足	公園整備は進めており、用地は確保できているが、公園として利用できる状態までには時間を要する。	公園が利用できるような整備に時間を要する。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	公共施設の整備改善を進める	土地区画整理事業を進め、道路整備並びに公園整備の早期完成を目指す。	土地区画整理事業

B欄 改 善 策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	整備された道路の安全対策等	地域住民による危険箇所の点検を行う事や、地区計画によって定められているルールが、現状に合わなくなった場合は定期的に見直しを行うなどの住民参画	まちづくり協議会
	新旧住民の交流	まちづくりに関する意見交換会やイベントの開催	まちづくり協議会、地域交流事業
	防火・安全施設等の点検、維持管理	完成検査の実施と行政への管理引継手続き	

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

☐	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
☐	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
☐	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4ー②）を再確認した。
☐	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4ー③）を再確認した。
☐	残された課題や新たな課題（添付様式5ー②）を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・土地区画整理事業が終了した時点でのまちづくり満足度調査を行い、その結果を今後の参考とする事も検討するべきである。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標			単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
				年度		年度								予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	消火困難区域を0%に減少	%	11.40	H28	0.00	R01	確定	○	0.00	○	あり	●	→			
							見込み					なし				
指標2				H		H	確定				あり		→			
							見込み					なし				
指標3				H		H	確定				あり		→			
							見込み					なし				
指標4				H		H	確定				あり		→			
							見込み					なし				
指標5				H		H	確定				あり					
							見込み					なし				
その他の数値指標1				H			確定						→			
							見込み									
その他の数値指標2				H			確定						→			
							見込み									
その他の数値指標3				H			確定						→			
							見込み									



添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標・成果の達成	うまくいった点	指標の数値目標は妥当で、成果は達成している。	
	うまくいかなかった点	地域住民がまちづくりに参画するような指標があっても良かったのではないかな。	
数値目標と目標・事業との整合性等	うまくいった点	事業の目的に対して妥当であった。	
	うまくいかなかった点	定量的な指標のみを設定しているため、定量的には表現できない定性的な効果はなかった。	
住民参加・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、社会資本整備総合交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後施行される土地区画整理事業において、防災対策に生かすことができる。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに評価結果を公表する	令和3年 1月19日～ 2月 1日 (2週間)	令和3年 1月19日～ 2月 1日 (2週間)	担当課への持参、もしくは電子メール	都市整備課 区画整理担当
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	インターネット及び都市整備課窓口にて閲覧できる旨の告知	令和3年 1月19日～ 2月 1日 (2週間)	令和3年 1月19日～ 2月 1日 (2週間)		

住民の意見	意見なし
-------	------

(6) 社会資本総合交付金評価委員会の審議

添付様式8 社会資本総合交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	湯浅 康之(榊平成まちづくり研究所)	令和3年2月2日	建設部 都市整備課 区画整理担当	和光市組合等社会資本 整備総合交付金事業等 評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	菅原 満(市議会議員) 新坂 弘(自治会長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・成果の評価方法については適正に行われていることが確認された。
	実施過程の評価	・適正に実施されたことが確認された。
	効果発現要因の整理	・適正に実施されたことが確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・適正に実施されたことが確認された。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・社会資本整備計画事業【白子三丁目中央地区】事後評価に係る庁内検討会議による今後のまちづくり方策については良くまとまっており、内容についても妥当であると確認された。
	フォローアップ	・指標の目標値を達成しているので、フォローアップは不要であると確認された。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると確認された。
その他		・特になし。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
湯浅 康之(株)平成まちづくり研究所) 菅原 満(市議会議員) 新坂 弘(自治会長)	令和3年2月2日	建設部 都市整備課 区画整理担当

有識者の意見	・当地区は2つの自治会に跨っており、その境目に近い位置に新しいコミュニティセンターや公園が完成する予定である。住民参加のイベントやお祭りなどを定期的に行うことが望ましい。これらの施設・取組を通して、近隣自治会並びに新旧住民の交流が深まることが期待される。 ・白子三丁目中央土地区画整理地区内に、スーパーが出店したことから、買い物場が新たにできたことは良かったが、地区内交通量が増加したことによる安全対策が課題である。 ・新たな道路線形によって生じる交通危険個所の点検を行い、交通事故が起こる前に対処することが望ましい。 ・宅地の利用増進による人口の増加に伴い、子供の増加が予測されることから、通学路や休日の子供たちの遊び場における、交通および防犯の安全対策が不可欠である。そのためには学校や教育委員会、地域住民が協力しながら地域の安全確保、スクールゾーンの見直し等を行う必要がある。これを推進するためには、市の取組が必要であると考えられる。 ・市の関係各課と連携しながら、安心安全のまちづくりと地域コミュニティの醸成を図っていくことが必要となる。
--------	---